

10月2日（月）「体育の日」

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

来週の月曜日「10月9日」は祝日です。さて何の日で休みでしょうか。そうです。「スポーツの日」です。

しかし、この祝日は、4年前までは「スポーツの日」という名前ではありませんでした。では、「スポーツの日」になる前は、何の日だったでしょうか。

①運動の日 ②健康の日 ③体育の日

正解は、「③体育の日」です。「体育」というと学校の授業のイメージがあるので、純粋に「スポーツを楽しむ日にしよう」ということで、東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに「スポーツの日」に名前が変わりました。

実は、「スポーツの日」になる前の「体育の日」は、「10月10日」が「体育の日」と決まっていた。

では、なぜ、昔は、「10月10日」が「体育の日」だったのでしょうか。今から59年前の1964年、日本で、そしてアジアでも初めてのオリンピックが行われたのが「東京」で、そのときの開会式が「10月10日」に行われたので、その日を記念して、「10月10日」が「体育の日」として祝日という休みの日になり、今の「スポーツの日」につながっているのです。

日本オリンピック委員会は気象庁というところに、「絶対に晴れる日」を調べてほしいとお願いをし、たくさんのデータの中から晴れる確率が高い日を調べてもらいました。すると、1番晴れる確率が高い日が10月15日で、2番が10月10日という結果が出ました。でも、10月15日は木曜日だったため、より多くの人に見てもらえるように、土曜日だった「10月10日」を東京オリンピックの開会式の日決定したのです。

実際に1964年10月10日がどうだったかというと、台風の影響で開会式前日までは、ぐずついた天気でしたが、当日は一転して快晴となりました。NHKのテレビ中継を担当したアナウンサーは

「世界中の青空を全部東京に持ってきてしまったような素晴らしい秋日和です」といったそうです。

今日はスポーツの日は、元は体育の日というお話をしました。

それでは以上でお話を終わります。（礼）